

松本龍前復興担当大臣の任命責任に対する抗議文

七月三日、被災地岩手県及び宮城県を訪れ、両県知事と会談した松本龍前東日本大震災復興対策担当内閣府特命担当大臣の言動に対し、宮城、岩手県民のみならず、東北各県から「決して発言を許すな」という、多くの怒りの声が、各自民党県連に寄せられている。

松本前大臣は「九州の人間だから、東北の何市がどこにあるかわからない」とか「お客さんが来るときは自分が入ってから呼べ、しっかりやれよ」、更に、被災した漁港を集約するという宮城県独自の計画に対しては「県でコンセンサスをとれよ、そうしないと我々は何もしないぞ」、「マスコミに対して」この発言を報道したら終わりだから」などと発言しているが被災地の復興への努力に水を差すものであり、暴言以外の何物でもない。その上、村井嘉浩宮城県知事との握手を拒否するなど、被災地の復興を担う大臣としての資質を欠く行動であり、到底容認できるものではない。

そもそも、この未曾有の大震災から立ち上がっていくためには、政府、地元自治体そして、与野党をはじめすべての国民の一致結束した取り組みが必要であることは自明の理である。このままでは、東北はもとより全国民の政府の復興対策に対する不信・不安がますます高まるばかりである。

よって、我々自由民主党東北ブロック両院議員会は、東北の被災各県県民の声を代表して、松本前大臣の言動を強く抗議するとともに、菅直人総理の任命責任を厳しく問い、東日本大震災に伴うすべての被災者に対して、真摯な謝罪を表明することを強く申し入れるものである。

平成二十三年七月五日

自由民主党東北ブロック両院議員会 会長 加藤 紘一

自由民主党副総裁（東北ブロック両院議員会幹事長） 大島 理 森

〈青森県〉 江渡 聡徳 木村 太郎 山崎 力

〈宮城県〉 小野寺五典 秋葉 賢也 愛知 治郎

熊谷 大

〈秋田県〉 金田 勝年 石井 浩郎

〈山形県〉 遠藤 利明 岸 宏一

〈福島県〉 吉野 正芳 岩城 光英 森 まさこ

〈参院比例〉 佐藤 正久 赤石 清美 高階恵美子

内閣総理大臣

菅 直人 殿